

# 佐原五中だより

## 部活動・春季大会の第2弾!

今回は「部活動・春季大会の第2弾」をお届けします。生徒たちも一生懸命頑張っています。応援して見ていると、結果だけでは見えない部分での進歩・成長もたくさん発見できました。保護者の皆さんの応援も、生徒にとって大きな力になっています。今後ともよろしくお願いいたします。  
さらに今日から1年生仮入部スタート!



### <陸上部>

4月22日(土) 第57回・北総地区中学校陸上競技大会 (東総運動場)

香取・印旛・東総の三地区の選手が集結した大きな大会。

高柴弘貴主将をはじめ本校の選手も健闘したものの、残念ながら決勝に残ることはできませんでした。

### 【個人成績】

	種目	選手名	学年	レース	記録	優勝者の記録
男子	共通 100m	久○	2年	予選 3組 5位	13 秒 10	11 秒 66
		根○	2年	予選 9組 5位	13 秒 68	
	共通 200m	久○	2年	予選 1組 6位	26 秒 23	23 秒 36
		高○	3年	予選 7組 2位	25 秒 45	
	共通 400m	根○	2年	予選 3組 5位	63 秒 22	51 秒 76
		高○	3年	予選 6組 1位	57 秒 12	
共通 800m	廣○	2年	予選 1組 6位	2分 30 秒 69	2分 01 秒 86 大会新	
4×100mR	廣○・久○ 根○・高○		予選 1組 6位	50 秒 48	45 秒 28	
女子	共通 100m	萩○	2年	予選 2組 8位	15 秒 38	12 秒 69
	共通 800m	大○	2年	予選 1組 1位	2分 33 秒 11	2分 16 秒 64 大会新
	共通走高跳	宮○	3年	予選	1 m 25	1 m 57
		萩○	2年	予選	1m 25	
	共通走幅跳	青○	2年	予選	3 m 82	5 m 78
		山丸	3年	予選	3 m 13	
4×100mR	宮○・萩○ 山○・大○		予選 2組 3位	58 秒 27	50 秒 82	



各選手の獲得ポイントによる学校対抗の総合順位は下記のとおりです。印旛地区の四街道西中が大差をつけて男女総合優勝。香取地区では佐原中が2位に入りました。

### 【学校対抗・総合順位】

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位
男子総合 【得点】	四街道西 48点	旭二中 44点	公津の杜中 38点	井野中 26点	佐原中 24点	神崎中 24点	旭一中 23点
女子総合 【得点】	佐原中 37点	東庄中 37点	七次台中 32点	四街道西 28点	小見川中 22点	公津の杜中 22点	旭一中 19点
男女総合 【得点】	四街道西 76点	佐原中 61点	公津の杜中 60点	東庄中 60点	旭二中 48点	七次台中 43点	旭一中 42点

**<サッカー部> 香取郡市U-15中学校サッカー大会予選**

4/22 (土) 佐原五中グラウンド

**【決勝トーナメント戦・準決勝】**

佐原五 ● 0  $\begin{bmatrix} 0-0 \\ 0-2 \end{bmatrix}$  20多古中

大会直前の練習で指を骨折した正 GK・田○選手が試合に出られない厳しいチーム事情の本校は、坂○選手をディフェンスの最後尾に配置し、佐○・郡○・片○選手と4バックで守備を強化して臨みます。

試合前、選手たちが自発的に作戦盤で話し合いをもつなど、この試合に賭ける意気込みの強さが表われました。(これには大根監督も感激！)

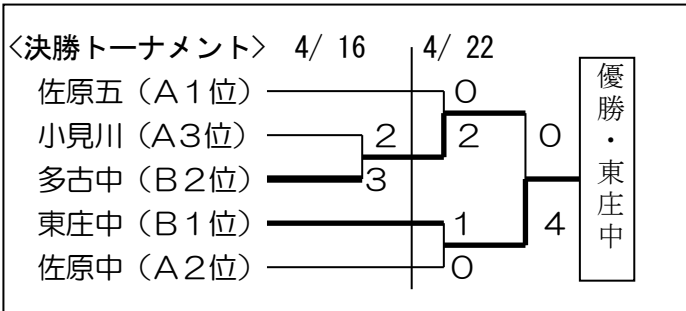
惜しくも決勝進出ならず!



決勝進出を賭けた大一番。前半5分、いきなりキーパーと1対1の危険な局面を迎えますが、これは田○選手に代わって入った GK 吉○選手の判断よい飛び出しキャッチでセーブ。23分には、DFの見事な連携でオフサイドをとるなど、守備が機能します。攻撃では19分、鈴○主将から右サイドを駆け上がった土○選手に絶妙のスループアス。土○選手がゴール前にセントリングという流れるような攻撃を見せますが、これはキーパーにキャッチされ、得点ならず。

0-0で迎えた勝負の後半。一進一退の攻防が続いた10分、ついに均衡が破れます。本校はパスミスからゴール前の混戦、ペナルティエリアから左隅にシュートを入れられ、先制されます。0-1とされて負けれない本校は攻勢を強め、相手陣でボールを展開しますが、「入った!」と思われたミドルシュートがバーにはじかれる不運もあり、なかなか得点できません。そんな18分。前がかりになった本校のすきを突かれ、相手 GK からのキックが風に乗って本校守備陣のウラへ、FWにボールがつながり、キーパーとの1対1でシュートを決められて0-2。

残り時間わずかともなっても勝利への執念を燃やす本校は終盤、猛攻をしかけます。トップ下の木○選手から再三ゴール前に好パスが供給され、25分・26分に坂○選手、鈴○選手と絶好のチャンスをつかむも、惜しくもシュートは決まらず無情のタイムアップ。

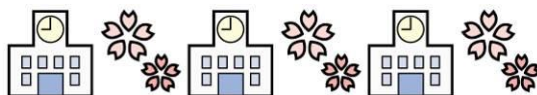


3位入賞で賞状。敢闘賞に坂下選手。

～最終結果～

- 【優勝】東庄中学校 (秋・春連覇)
- 【準優勝】多古中学校
- 【第3位】佐原第五中学校、佐原中学校

サッカー部の大会は、残すところ夏の総体予選のみ。さあ、どこまで力をつけられるか!? 部員一人一人が意識を高くもって日々の練習に打ち込むことですね。頑張れ!



**バスケットボール部** <4/22(土) 県選手権バスケット大会 多古中体育館>

【男子】 予選リーグ  
<1試合目>

佐原五 ● 35  $\left[ \begin{array}{l} 10-15 \\ 8-11 \\ 9-15 \\ 8-12 \end{array} \right]$  53 ○ 山田中

県大会出場を賭けた郡市大会。前回の北総大会は、けがで出場できなかった齋○選手が戦列復帰しての大会となりました。

リーグ初戦は、着々と力をつけ上り調子の山田中が相手。第1ピリオド、服○主将が4ゴールをあげるなど奮闘しますが、シュートの正確さに勝る山田中に10-15とリードを奪われます。

その後の各ピリオドもわずかな差ながら山田中の得点に届かず、敗れました。



上進も十分に可能ですね。とらぬ動きは他校にひけをとらないスキルがあるだけに、シュート力に磨きがかかれば、

<2試合目>

佐原五 ● 40  $\left[ \begin{array}{l} 13-13 \\ 11-18 \\ 7-6 \\ 9-11 \end{array} \right]$  48 ○ 東庄中

リーグ戦2試合目は、新人戦準優勝校の東庄中戦。勝利を目指す本校は、第1ピリオドを高○・服○選手のゴールなどで13-13と食らいつきます。地力にまさる東庄中は、第2ピリオドに入り本領発揮、次々とゴールを決めて本校を突き放しにかかります。負けられない本校も島○・齋○選手のスリーポイントシュートで追い上げ、第3ピリオドを制します。31-37で迎えた最終ピリオド。

取っては取られる展開でなかなか点差は縮まらず。終了1分半前にタイムアウトをとって、1ゴール+スリーポイントのゲームプランで勝負をかけますが、惜しくもシュートは入らず、逆に1ゴール決められて8点差で涙を吞みました。



【女子】 トーナメント1回戦

佐原五 ● 27  $\left[ \begin{array}{l} 11-32 \\ 4-16 \\ 7-7 \\ 5-28 \end{array} \right]$  83 ○ 小見川中



過日の新入生歓迎会では、ユニークで個性的な発表で人気。圧倒的な存在感とチームワークの良さをアピールした藤○主将率いる女子バスケット部。1回戦の相手は、新人戦で準優勝・先日の北総選抜大会でもベスト4に入っている実力校・小見川中です。

舞○選手	9得点
鴉○選手	
巻○選手	6得点
藤○選手	1得点
小○選手	6得点
石○選手	5得点

この強豪を相手に本校は、けがから復帰した舞○選手が躍動します。まだ足が完治していない状態ながら、大差をつけられた第1ピリオドにあって、スリーポイントを含む7得点をゲット。続く第2ピリオド以降は、藤○主将・巻○・小○・石○選手らが選手層の厚さを誇る小見川中の堅いディフェンスと圧倒的なシュート力の前に、敗れましたが、選手とベンチが一体になって、最後まで粘り強く戦う姿勢は◎。(応援の2年生の声もとっても素晴らしかった！)

## 野球部 <4/22 (土) 郡市中学校野球春季大会・小見川くろべ公園球場>

### 第1回戦

小見川・五中連合	20000	2
山田中	3134×	11

(山田中) ○小○、藤○  
(連合) ●外○、木○—館○



	△は左打者	所属・学年	打安点四振犠盗E
1	△柳○ (左)	佐原五②	20010000
2	△丸○ (右)	小見川③	11010000
3	外○ (投遊)	小見川②	21100014
4	館○ (捕)	佐原五③	20001004
5	△金○ (一)	小見川②	21100000
6	木○ (遊投)	佐原五③	20002002
7	梶○ (二)	佐原五③	20002000
8	高○ (中)	佐原五③	20002000
9	篠○ (三)	小見川②	20002001

### 【試合状況】

初戦の相手は、新人戦で準優勝し、県大会を経験している強豪・山田中。初回、連合チームは山田中の好投手・小○投手の立ち上がりを突いて先制します。先頭の柳○選手が四球で出塁すると、続く丸○選手の強めのバントが内野安打となって無死1, 2塁。ここで3番外○選手が小○投手の速球をジャストミート。センター前タイムリーとなって鮮やかに先制。さらに5番金○選手も1, 2塁間を抜く痛烈なタイムリーヒットで2-0。初回の先制攻撃による2点先取で、ベンチも一気に盛り上がります。

しかし、山田中もすかさず反撃。2死から四球をきっかけに盗塁でかき回すと、連合の守備が乱れ2-3と逆転されます。さらに連合は連携ミスなどで2回、3回と得点を重ねられると、4回には2死満塁から走者一掃の二塁打を含む連続タイムリーを喫し、2-11と点差を開かれます。反撃したい連合チームですが、エンジンのかかった相手エースの速球と変化球のコンビネーションにほんろうされ、なかなかチャンスメイクできません。3点以上取らないとコールドゲームとなる連

合の5回表。ベンチ内選手全員が立ち上がって仲間に声援を送り、必死の反撃を試みますが、三者凡退に打ち取られ、無念の敗退となりました。

敗れはしたものの、初めて捕手に入った館○選手がスクイズの難しいキャッチャーフライを捕球し、三塁転送でダブルプレイをとったプレイや、苦しい場面で救援しテンポの良い投球を見せた木○主将をはじめ、久保木新監督の指導のもとチーム一丸、大きな声ときびきびしたプレイぶりで新生・五中野球部の姿を印象づけることができました。



## ねらえ、横断幕！次はだれだ？

正門前に設置された横断幕。生徒の活躍ぶりを地域の方々にも知ってもらおうと増田校長先生が発案して実施しているもの。今年度は早速、剣道部の榎○選手が第1号として昨日掲示されました。(今年は風対策にベニヤ板の上に貼付)。さあ、次はだれかな？運動だけでなく文化系の入賞も該当しますよ。頑張って、ねらってね！

